

## 大塚たかしさんに大阪・日本の未来像をお聞きしました。

### 《これから大阪はどうなっていくか?》

関西圏ではこれからいくつもの、経済の底上げに繋がる国家プロジェクトが立て続けに控えております。昨年2016年4月から、国内第一号の空港コンセッション案件である大阪国際・関西国際空港の民間での経営が始まりました。大阪国際空港では今後、ターミナルビルのJALとANAの到着口が一本化され、モノレール駅との導線の整備により利便性がより向上し、海外からの観光客にも使い易い空港になっていきます。そして、2021年にワールドマスターズゲームズの開催、2037年にリニア新幹線の前倒し開通、さらに2025年に向けての大阪への万博誘致の構想やIR法案の整備など、多岐に渡りチャンスが巡ってきます。成立した各法案、施策をもとに市町村、府県、国とがしっかりと連携をしていくことで、関西圏の経済活性化を促進し、若者たちが期待を持てる未来へ、力強く前に進めてまいります。



衆議院本会議



大阪国際空港及びその周辺地域活性化促進協議会が国土交通大臣に要望書提出



女性会の皆様と(ロースアベニュー)



自民党豊中市議団と勉強会



豊中市長と佐藤国対委員長と大塚代議士

### 《配偶者控除及び配偶者特別控除の見直し》

(夫が稼ぎ頭で妻が主な家事の担い手となる世帯の場合)

- 配偶者(妻)の給与収入金額の上限を 現行の103万円から150万円に引上げ。
- 150万円以上は控除額が段階的に減り、約201万円でゼロになる。
- 納税者本人(夫)の給与収入制限もあり、1,120万円から控除額が減り、1,220万円でゼロになる。



大塚たかし君を励ます会



衆議院議院運営委員会 新たな国立公文書館に関する小委員会

### 《前国会ではどんな法案が成立しましたか?》

少子高齢化が進む中、公的年金制度のメリットをより多くの方が享受し、若者が安心して子育て出来る日本を目指していくため「年金改革法案」が成立いたしました。

- 中小企業で働く短時間労働者の方も厚生年金への加入可能に
  - 国民年金加入女性の産前産後の期間(4か月)は保険料免除
  - 若い世代が将来受け取る年金額を確保するため、賃金変動に合わせた年金額改定に見直し。
  - 無年金対策として、受給資格期間を25年から10年へ大幅に短縮
- 他に「特定複合観光施設区域の整備推進法案」「TPP関連法案」等重要法案も成立しています。

### 《気になる子育て・介護、これからどうなりますか?》

- 給付型奨学金  
平成30年度から(一部平成29年度から前倒して実施)住民税非課税世帯を対象に月額2万円から4万円の幅で給付する。
- 保育士や介護人材の処遇改善  
保育士などの給与を2%増やし、経験によりさらに4万上乗せ。  
介護士は月額平均1万円増やせるように介護報酬を加算。  
保育の受け皿は50万人分拡大、介護では小規模特別養護老人ホームの整備。  
また育児休業の給付金支給期間をこれまでの最大1年半から2年へ延長。



第八回日中議会交流委員会



国対視察\_フランス上院視察



国対視察\_ホルトガル\_大使公邸にて

### 《地元の重点課題》

- 千里中央地区活性化ビジョンに基づく街づくりの実現
- 「地震等に著しく危険な密集市街地」の解消や南部コラボ構想等の南部地域活性化
- 学びの環境都市を支える学校、通学路における子供の安全対策・学力強化
- 保育士処遇改善の他、保育所の国有地活用や新設による待機児童解消に向けた取り組み
- 一億総活躍社会の実現へ向けての「働き方改革」としての就労支援
- 多様な介護予防・地域での日常生活の包括的支援総合事業の推進
- 国道176号の電線共同溝事業と無電柱化についての取り組み
- 段階的無償化に向けた幼児教育振興法の早期成立



衆議院で献血



豊中支部総会



ドイツ表敬訪問



日本ブルガリア友好議員連盟

HPがリニューアルしました。  
大塚たかしさんを紹介しています。  
<https://www.otsuka001.com/>  
詳しくはこちらをご覧ください。

